

□■ 05 ねえ、どれがいい？ ■□

～ 対話を生む究極の選択を考えよう ～

イヌ派、それともネコ派？ 目玉焼きにはソース、それとも醤油？のような2択は、いつでも人と共感したり、意見が分かれたり面白いもの。どちらを選ぶかの究極の選択を、みんなで考えて質問し合います。「え！それは選べない！！」なんてことも、みんなで笑えたら楽しいですね。答えが違うのは多様性が表現できている証拠です。



りょうちゃん

*対象…小学校中学年～
*人数…4人～
*時間…15～20分
#質問#多様性#選択#お互いを知る

用意するもの

- 絵本「ねえ、どれがいい？」ジョン・バーニンガム
- 紙とペン

進め方

- (1) 導入（参考）として、絵本「ねえ、どれがいい？」のような子どもが選択をする対話型の絵本を読み聞かせ。
例：「もしもだよ、きみんちのまわりがかわるとしたら
大水と、大雪と、ジャングルと、ねえ、どれがいい？」
- (2) 3～4人組を作って、それぞれで「究極の選択」を考える。
「それいいねー！」「あー、それ悩む！」などと、盛り上がればOK。
- (3) 各グループで、イチオシの問題を全体に発表してみる。

<サンプルクエスチョン>

- ・「デザートに食べるならまんじゅう？ それともチョコレートケーキ？」
- ・「旅行に行くなら沖縄の海？ それとも北海道の雪祭り？」
- ・「一つだけ手に入れられるとしたらどこでもドア？ それともタケコプター？」
- ・「一万円当たった宝くじ？ それとも抽選前の宝くじ100枚？」

- ・「真夏のこたつでみかん？ それとも真冬の屋外でかき氷？」
- ・「魔法使いになると、スーパーヒーローになるとのどっちがいい？」

バリエーション

- ・地面にロープでまっすぐ線を引き、○×ゲームのように、答えに合わせてロープの右と左に別れてもらうことで、だれがどっちの答えかを見える化してみる。
- ・「なんでそっちがいいの？」と、選んだ理由をインタビューしてみる。
- ・Aを選んだ人が、Bを選んだ人を説得してみる。自分の答えのよさを熱弁し合う。

注意事項

キャンプなのか、学校教育現場なのかによって、質問の質に配慮する。悪ふざけをして、人が答えにくい質問を考えてくる子どもがきつというかも・・・。

参考文献

「ねえ、どれがいい？」ジョン・バーニンガム（評論社）

